

令和8年度 予算のお知らせ

令和8年2月18日に開催されました組合会にて令和8年度(2026年4月～2027年3月)予算案が承認され、以下のとおり決定しましたので、概要をお知らせいたします。

1. 保険料率について

(単位：千分比[‰])

	令和8年3月分 (4月控除分)より	現行 (3月控除分)まで
健康保険料率	88.00 (変更なし)	88.00
介護保険料率	16.00	17.50
	令和8年4月分 (5月控除分)より	現行 (4月控除分)まで
子・子支援料率	2.30	—

(単位：千分比[‰])

	健康保険料率					介護保険料率	子・子支援料率
	合計	調整保険料率	一般保険料率			合計	合計
			小計	基本保険料率	特定保険料率		
事業主	45.80	0.72	45.08	18.06	27.02	8.00	1.15
被保険者	42.20	0.67	41.53	16.58	24.95	8.00	1.15
合計	88.00	1.39	86.61	34.64	51.97	16.00	2.30

基本保険料：医療費等の保険給付費や保健事業等に充てる保険料

特定保険料：高齢者医療制度への納付金・支援金として国に納める保険料

調整保険料：健保間の財政調整事業に充てる保険料

介護保険料：国に納める介護納付金に充てる保険料

子・子支援金（子ども・子育て支援金）：政府が少子化対策の財源として徴収（2026年4月～）

※（1‰=0.1%）

2. 予算について

納付金等や保険給付費(皆さんの医療費)の支出の増加による収入不足を補うために、別途積立金から1億8,000万円を取り崩して予算に計上しました。

納付金等については、88%中52%を占めており、保険料収入の約6割を国(他制度)に支援することになり、大きな財政負担になっています。

概要につきましては次のとおりとなります。

## 【予算のお知らせ】

### （一般勘定について）

収入では、保険料収入が10億5,321万円、調整保険料収入等1,695万円、その他収入85万円となり、支出を賄うために、別途積立金から1億8,000万円を取り崩して予算を組みました。

支出では、保険給付費（皆さんの医療費等）が4億5,548万円、納付金・支援金等（高齢者の医療費等として国に納めます）が6億3,400万円、保健事業費は5,404万円（特定健康診断・特定保健指導・人間ドック・脳ドック/スマート脳ドック補助・家族（主婦）健診「巡回型健診」（巡回レディース健康診断）・その他がん健診等）を計上しました。その他に健康保険組合連合会に納める財政調整事業拠出金や事務費等の支出が8,660万円、不測の支出に備えて予備費として2,463万円を計上しています。その結果、令和8年度予算総額は、12億5,500万円を計上しました。（経常収支は1億5,737万円の赤字）

### （介護勘定について）

40歳から64歳までの被保険者の皆様と同じく、40歳から64歳までの被扶養者が加入している被保険者から、介護保険法に基づいて、健康保険料に介護保険料を上乗せして納めていただいています。

介護納付金額は、毎年、厚生労働省から通知された計算式から算出しており、令和8年度の納付金は2年前の清算金がマイナス1,717万円ありますものの、前年度より1,546万円の増加となり、1億3,682万円となりました。

介護保険収入は、1億3,682万円を計上しました。

### （子ども・子育て支援について）

令和8年度4月保険料（5月末納付分より）一般保険料や介護保険料とあわせて、新たに「子ども・子育て支援金」を徴収することとなります。令和8年度予算総額は、2,738万円を計上しました。

### （保健事業について 《疾病予防に重点をおいた健診・検査等を実施します》）

女性被扶養配偶者を対象とした、「巡回レディース健康診断」を今年度も実施いたします。

対象者には、ご自宅に「ガイドブック」を郵送いたします。また、特定健康診査・特定保健指導も引き続き実施いたします。

対象となる40歳以上（今年度）の被扶養者の方は、「ガイドブック」をご覧いただき、受診方法を選択してください。

なお、被保険者の方の特定健康診査は、会社の定期健康診断を代用いたします。

その他の保健事業については、疾病予防に重点をおいた「人間ドック補助」や「がん検診」、「脳ドック・スマート脳ドック補助」、「インフルエンザワクチン接種補助」、医師指導及び処方薬を用いた「オンライン禁煙プログラム」を実施いたします。今年度より人間ドックの補助額を1万円増額した4万円とし、疾病の早期発見・早期治療に繋がります。また、歯周病が「全身の健康」に悪影響を及ぼすとされており、新規保健事業として「歯周病検査」事業を実施いたします。

各種健診の実施にあたっては、その都度、メインフォルダ等でご案内いたします。積極的にご利用いただき、日頃から健康管理には十分ご留意されますようお願いいたします。

令和8年度  
収入支出予算の概要

一般勘定

収入

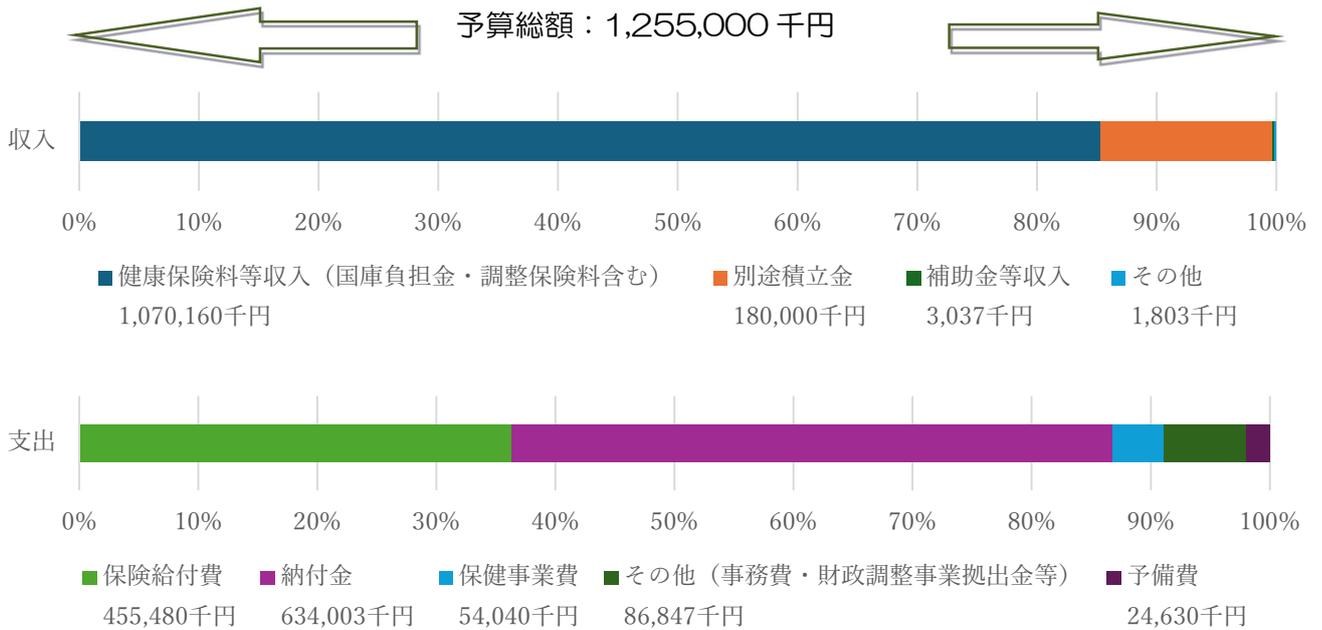
(単位:千円/円)

科目	予算額	被保険者 1人当たり額
*健康保険料収入	1,053,000	672,414
*国庫負担金収入	210	134
調整保険料収入	16,900	10,792
財政調整事業繰越金	50	32
別途積立金繰入	180,000	114,943
国庫補助金収入	4	3
*特定健康診査等補助金	200	128
*出産育児交付金	833	532
財政調整事業交付金	2,000	1,277
補助金等追加収入	0	0
*その他収入	1,803	1,151
収入合計	1,255,000	801,405
*経常収入合計	1,055,796	674,199

支出

(単位:千円/円)

科目	予算額	被保険者 1人当たり額
*事務費	68,247	43,580
*保険給付費	455,480	290,856
(法定給付費)	(453,300)	289,464
(付加給付費)	(2,180)	1,392
*前期高齢者納付金	341,000	217,752
*後期高齢者支援金	293,000	187,101
*病床転換支援金	1	1
*流行期初期医療確保拠出金	1	1
*出産育児関係事務費拠出金	1	1
*保健事業費	54,040	34,508
財政調整事業拠出金	16,950	10,824
*保険料還付金	0	0
調整保険料還付金	0	0
*連合会費・その他/返金	1,400	894
予備費	24,630	15,728
*子ども勘定繰入	250	160
支出合計	1,255,000	801,405
*経常支出合計	1,213,170	774,693
*経常収入支出差引額	▲157,374	



### 介護勘定

#### 収入

(単位:千円/円)

科目	予算額	被保険者 1人当たり額
介護保険料収入	135,601	143,039
繰入金	1,221	1,288
介護納付金還付金収入	1	1
<b>収入合計</b>	<b>136,823</b>	<b>144,328</b>

#### 支出

(単位:千円/円)

科目	予算額	被保険者 1人当たり額
介護納付金	136,823	144,328
介護保険料還付金	0	0
積立金	0	0
<b>支出合計</b>	<b>136,823</b>	<b>144,328</b>

### 子・子支援勘定

#### 収入

(単位:千円/円)

科目	予算額	被保険者 1人当たり額
子・子支援収入	27,131	17,325
一般勘定繰入	250	160
<b>収入合計</b>	<b>27,381</b>	<b>17,485</b>

#### 支出

(単位:千円/円)

科目	予算額	被保険者 1人当たり額
子・子支援納付金	24,370	15,562
予備費	3,011	1,923
<b>支出合計</b>	<b>27,381</b>	<b>17,485</b>

### 3. 任意継続被保険者の標準報酬月額の上限額について

(2026年4月1日から2027年3月31日迄)

任意継続被保険者の上限は次のとおりとなります。

- 標準報酬等級      29等級
- 標準報酬月額      47万円
- 標準報酬日額      15,670円

任意継続被保険者の保険料は、退職時の報酬月額と上記基準月額とを比べ、どちらか低い方の月額×90.3%(88.0%+2.3%)となります。

なお、介護保険料の納付該当者は106.3%(88.0%+16.0%+2.3%)になります。

以上